

岐阜県子どもの読書活動推進計画（第四次）概要版

～読もう！つなごう！ひろげよう読書活動～

■第四次計画策定の背景

1 国の動き

- ・平成13年12月「子どもの読書活動の推進に関する法律」
- ・平成30年4月「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（国第四次計画）

2 県の動き

- ・平成27年3月「岐阜県子どもの読書活動推進計画（第三次）」
- ・平成31年3月「第3次岐阜県教育ビジョン」
基本方針の一つ「未来を切り拓くための基礎となる力をはぐくむ教育の推進」の目標「豊かな人間性をはぐくむ教育の推進」の取り組むべき主な施策として、「読書の推進」を位置付け

■第三次計画における成果

- ・ブックスタート等を実施する市町村の増加（平成30年度：36市町村）
- ・学校図書館蔵書データベース化の進展：小学校83.5%，中学校83%，高等学校100%が蔵書データベース化（平成28年度）
- ・市町村「子どもの読書活動推進計画」策定率100%を達成（平成30年度）
- ・県図書館で、夏休み期間を中心に、子ども向け講座や教室を継続的に開催
- ・子どもたちの主体的な学習活動ができる「情報センター」として学校図書館を活用
- ・平成28年度より「全国高等学校ビブリオバトル岐阜県大会」を開催
- ・特別な支援を必要とする子どもの読書活動推進のため、職員研修を充実

■第四次計画に向けた課題

- ・1日の読書時間が1時間以上の児童生徒の割合（岐阜県）は、小学生はやや増加，中学生はやや減少
- ・1日に読書をまったくしない児童生徒の割合（岐阜県）は、小学生はやや減少，中学生は横ばい
- ・高校生の不読率 [1か月に一冊も本を読まない人の割合]（全国）は高いまま

- ・読書時間が大きく改善されたとはいえない。
- ・学年が進むにつれ本を読まなくなる傾向にある。

- ・「読書が好き」と答えた児童生徒（岐阜県）は、小学生77.3%，中学生67.6%
- ・公立図書館や学校図書館を日常的に利用する児童生徒（岐阜県）は、読書が好きと答える生徒の割合に比べると少ない

読書が好きでありながら、実際の読書活動に結びついていない。

■第四次計画の基本方針

<目標>

「生涯にわたって読書を楽しみ、
読書から学ぶ力を身に付ける子どもを目指した、
豊かな心を育む読書活動の推進」

<基本方針> 1 本との出会いの提供

- 2 楽しみながら進める読書の習慣化
- 3 本から学ぶ力の育成
- 4 読書から生まれた自分の考えを表現する機会の提供
- 5 特別な支援を必要とする子どもの読書活動の推進

<計画の期間> 令和2年度～6年度

■子どもの読書活動推進において今後望まれる方向

5つの基本方針	家庭・地域における活動の推進	図書館における活動の推進	学校における活動の推進
1 本との出会いの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業等，子どもと本を結ぶ活動の実施推進 ・身近に本がある環境づくり ・子どもと本を結ぶ保護者等への啓発 ・子どもの読書活動を支える人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内図書館職員に対する支援 ・ブックリストの作成 ・図書館と外部機関との連携強化 ・読書や情報環境の多様化への対応 ・図書館の運営状況に関する自己評価・外部評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館担当事務職員（学校司書）の配置と研修の充実 ・必読書・推薦図書の設置 ・地域の図書館やボランティア団体との連携 ・蔵書データベース化の推進 ・校内環境整備
2 楽しみながら進める読書の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村「子どもの読書活動推進計画」の改訂 ・市町村における家庭・地域での読書活動推進支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館相互の連携体制の確立 ・ボランティア人材の育成 ・ニーズに応じた資料整備と提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間を身に付ける活動の充実 ・読書指導計画の見直し ・校内図書委員会活動の活性化
3 本から学ぶ力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・県職員出前トークの活用 ・子ども向け講座・教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービスの充実 ・ウェブサイト等での情報提供 ・図書館ボランティア・職場体験の受入 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習センター」としての機能の充実 ・「情報センター」としての機能の充実 ・地域の図書館の利用促進 ・教職員のための図書館利用研修の充実
4 読書から生まれた自分の考えを表現する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが参加できる読書に関するコンクール等の普及，活動の場，情報交流の場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に中高生の読書活動を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験と読書を結びつけた表現活動の実施 ・自分の考えと読書を結びつけた対話活動
5 特別な支援を必要とする子どもの読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする子どもに関わる読書ボランティア団体の育成 ・福祉施設と公立図書館との連携による読書活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修の充実 ・特別支援教育諸学校等への図書資料貸出 ・外国語図書の収集と提供の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備 ・タブレット端末の活用

県は上記の各取組を推進する他，県内市町村の取組を把握し，関係機関への情報提供を通じて，次年度以降の施策に役立てる。

■目標値

取組	現況値	目標値
子ども向け図書館利用・活用講座の取組実施率（市町村）	48%	60%
読書が好きと感じている児童生徒の割合	小学校 77.3% 中学校 67.6%	小学校 90%以上 中学校 80%以上
図書館（学校・公共）を週1回以上利用する児童生徒の割合	小学校 32.1% 中学校 12.9%	小学校 40%以上 中学校 20%以上
子どもが参加できる読書に関するコンクール等の取組実施率（市町村）	26%	40%

○上記の目標を達成することで，「1日に読書をまったくしない児童生徒の割合」（小学校17.1%，中学校34.5%）を減少させる。